

福島を元気にする 青年海外協力隊





写真展「福島を元気にする青年海外協力隊」を 開催するにあたって

「青年海外協力隊」は国際協力機構が実施する海外ボランティア事業です。協力隊員は開発途上国の経済・社会の発展に協力するために、日本とは異なる厳しい環境で2年間の活動に打ち込みます。協力隊員はそれぞれの任地へ派遣される前に、現地で必要とされる知識や技能を習得するために70日間の派遣前訓練を受けます。その訓練を実施している施設が二本松青年海外協力隊訓練所(JICA二本松)です。

協力隊員は、開発途上国での2年間の活動期間中に「発想力・企画力」「忍耐力」「柔軟性」や「異文化適応能力」そして「コミュニケーション能力」など多くの人間力を身につけて帰国します。これらの人間力はこれからのグローバル社会において重要な基本能力であると同時に、現在、復興の途を歩む東北地方においても必要とされる能力であると考えています。

協力隊経験者の中には、任国での活動を終え帰国した後に、ここ福島県を始め東北地方に通い続け、また移り住んで、復旧・復興関係の仕事に就く人が少なくありません。こうした活動には途上国での2年間の経験が大いに活かされています。

彼らの心の中には、すでに「海外」「国内」と言う垣根は存在せず、地球上で自分自身が役に立てるのであればどこにでも飛んでいきたい、と言う熱い志と行動力が備わっているのかもしれない。また派遣前の訓練中にお世話になった福島に対する感謝の気持ちと深い愛着が、彼らの気持ちを突き動かしているのかもしれない。

東日本大震災から3年を迎えるに際し、県内で復興のお手伝いをする青年海外協力隊経験者の姿を写真でご紹介します。福島に心を寄せる青年海外協力隊の姿をどうぞご覧下さい。

平成26年2月吉日

独立行政法人国際協力機構
二本松青年海外協力隊訓練所

所長 **北野 一人**

開催記録

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| ◇2/21(金)～28(金)…福島:福島駅東西自由通路 | 会津:アピオスペース |
| ◇3/2(日)～6(水)…いわき:LATOV | 南相馬:野馬追通り 銘醸館 一番蔵 |
| ◇3/10(月)～14(金)…二本松:二本松市役所 | |
| ◇3/10(月)～15(土)…郡山:ビッグアイ MOLTY | |



派遣国/マラウイ
隊次/平成12年度第1次隊
職種/作業療法士

二本松市
JOCVリハビリテーションネットワーク
杏林大学保健学部作業療法学科准教授

●JOCVリハビリテーションネットワークは青年海外協力隊でリハビリテーションの職種経験者が集う会。河野さんは震災発生当初から活動を続け、リーダー役として連絡調整業務をこなしながら自身でも福島に足を運びマッサージ等のケアを行う。

撮影地:二本松市岳下住民センター-応急仮設住宅(二本松市)



撮影地:二本松市岳下住民センター-応急仮設住宅(二本松市)

わた なべ きょう こ
渡邊恭子

「活動を始めた頃に、ある仮設の方が
『楽しいと前に進めるんですよ』
と言って下さったこと」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/ヨルダン
隊次/平成3年度第1次隊
職種/手工芸

二本松市
ふくしまの笑顔をつなぐボランティア
グループ“ひらそる”事務局

●この仮設住宅は母校の跡地。この日はクリスマス会が開かれた。震災後、継続的に関わっている。「名前で呼び合える関係ができていっている所なんです」と語る。

撮影地:二本松旧平石小学校応急仮設住宅(二本松市)



撮影地:二本松旧平石小学校応急仮設住宅(二本松市)



●子ども達とペーパークリスマスツリーを製作した。手工芸隊員の腕の見せ所。
「浪江・岳下絆まつり」にて。

撮影地：二本松市岳下住民センター応急仮設住宅(二本松市)

ふるごおり
古郡

めぐみ
恵

「そこに待っている人がいたら」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国／パキスタン
隊次／平成15年度第2次隊
職種／作業療法士

二本松市
JOCVリハビリテーション
ネットワーク

●パキスタンでは2005年の地震の他にも支援活動を行った。「忘れてない欲しい」という気持ちを感じる」と語る。北海道から2～3ヶ月に1度来県。この日は「浪江・岳下絆まつり」。食事会の準備を手伝った。

撮影地：二本松市岳下住民センター応急仮設住宅

ち わき
知 脇

のぞみ
希

「七転び八起き」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/フィジー
隊 次/平成13年度第3次隊
職 種/理学療法士

二本松市
JOCVリハビリテーション
ネットワーク

●千葉県在住で2011年4月から月2回の頻度で来県、理学療法のケアをしたり手工芸の製作をしたりと内容は様々。この日は集会所で“つるし籠”を作った。「青年海外協力隊でも家にいけないことはあった。この会があったから、やりたいことが仲間と共にできている」と語る。

撮影地:二本松市岳下住民センター-応急仮設住宅



撮影地:二本松市岳下住民センター-応急仮設住宅



●この日開かれた「浪江・岳下絆まつり」の食事会の準備を手伝った。この日のメニューはルワンダ料理。
「二本松農村婦人の家」の厨房にて。

撮影地：二本松市岳下住民センター応急仮設住宅

すの はら 春原るみ

「対象者の方の想いを聴いて、
自分のできる活動を考えるのはそれから」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国／ザンビア
隊次／昭和62年度第1次隊
職種／作業療法士

二本松市
JOCVリハビリテーション
ネットワーク

●長野県から1度来県。長野で応援してくれる人達について「私を通して想いを届けようとしている人がいる。」と語り、活動を継続している。今日は恵方巻を皆で作った。

撮影地：二本松市岳下住民センター応急仮設住宅

た な か さ わ こ
田中紗和子

「楽しむこと」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/ニカラグア
隊次/平成23年度第1次隊
職種/作業療法士

二本松市
JOCVリハビリテーション
ネットワーク

●子ども達とビーズのアクセサリーを製作するコーナーを受け持った。一人一人に笑顔を向ける。「浪江・岳下絆まつり」にて。

撮影地:二本松市岳下住民センター応急仮設住宅



●2013年の帰国後から定期的に来県。マッサージをしながら日常生活の様子を聞き、運動についてアドバイスを行う。

撮影地:二本松市岳下住民センター応急仮設住宅

いしもと
石本

かおり
馨

「無理はしないこと。普段の生活に
支障があったら先方の負担にもなる。
できる範囲のことをすること」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/マレーシア
隊次/平成7年度第1次隊
職種/作業療法士

二本松市
JOCVリハビリテーション
ネットワーク

●マッサージをしながら談笑。「教えていただくことがとても多いこと。一緒に活動する仲間からも、行った先の人からも刺激を受ける。新鮮な学びの場なんです」と、肩肘張った様子はない。

撮影地:二本松市岳下住民センター-応急仮設住宅



撮影地:二本松市岳下住民センター-応急仮設住宅

きよ やま ま こと
清山真琴

「味方はいますよ！
と福島県民の皆さんに伝えたい」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/チュニジア
隊次/平成21年度第2次隊
職種/作業療法士

南相馬市
福島県精神保健福祉協会 ふくしま心のケアセンター
南相馬駐在 専門員(作業療法士)

●協力隊でチュニジアから帰国後、実家の宮崎県から南相馬市に引っ越した。高齢者や遺族の方々など、震災前と同様の生活を送るのが難しくなった市民を対象に戸別訪問を行っている。

撮影地:千倉応急仮設住宅(南相馬市)



●外遊びが制限されて体力低下が懸念される園児のため、室内で出来る幼児期に必要な遊びを作業療法士の視点から保育士に提案している。

撮影地:原町聖愛保育園(南相馬市)



撮影地：原町聖愛保育園（南相馬市）

もり
森

かず
一 樹

「疲れたら休む！」

（Q：今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心構は？）



派遣国／フィリピン
隊 次／平成21年度第3次隊
職 種／村落開発普及員

福島市
復興庁福島復興局
復興支援専門員

●「市町村応援職員」制度で赴任した復興支援員のサポートや連絡調整業務を担う後方支援の現場だ。

撮影地：復興庁福島復興局（福島市）

よし だ じゅん べい
吉田 淳平

「現状を受け入れ、今できることを淡々と行い、
将来の理想を目指す」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/ルワンダ
隊次/平成23年度第1次隊
職種/食品加工

福島市
福島市役所政策推進部広報広聴課
広報係

●協力隊でルワンダから帰国後、福島市役所に就職を決める。地元大阪から福島市へ移り住み、福島への貢献を決意する。

撮影地:福島市役所 写真:本人提供



もろ さわ み ほ
諸澤美穂

「後悔しないこと。やらない後悔はしたくない」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/ホンジュラス
隊次/平成22年度第4次隊
職種/保健師

二本松市
二本松市役所健康増進課
二本松市放射線被ばく測定センター

●WBC(ホールボディカウンター)と問診で内部被曝量を測定している。誰にでも和やかに接して、訪問者の緊張をほぐしている。復興庁の市町村応援職員制度により北海道から赴任。

撮影地:二本松市放射線被ばく測定センター



撮影地:二本松市放射線被ばく測定センター

いし ばし ち え
石橋 知恵

「やりたいことをやる。自分に素直に」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/ラオス
隊次/平成22年度第4次隊
職種/助産師

二本松市
二本松市役所健康増進課
二本松保健センター

●赤ちゃんのいるお宅に訪問。成長の様子を診ると共に生活状況等について聞き取り調査を行っている。復興庁の市町村応援職員制度により赴任。

撮影地:二本松市表地区



撮影地:二本松市表地区

お ばた かず ひこ
小幡 和彦

「センターに来た市民の方が『までに
(丁寧に)説明してくれてありがとなし』
と言って帰られたこと」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をやる上で大切にしている心情は?)



派遣国/ラオス
隊次/平成8年度第1次隊
職種/診療放射線技師

二本松市
二本松市役所健康増進課
二本松市放射線被ばく測定センター

●内部被曝量を測定している。「自分が持っている特殊技術が何らかの役に立つならば」と復興庁の市町村応援職員制度により北海道から赴任。

撮影地:二本松市放射線被ばく測定センター



●ある日突然、「(あなたたちは)被ばくしてねえか? さすけねえか?」と言ってセンターに来た市民がいた。それが今でも励みになっているという。

撮影地:二本松市放射線被ばく測定センター

なか むら ゆう や
中村雄弥

「パチョコ パチョコ (少しずつ 少しずつ)」
(マラウイ、トゥンブカ族の言葉)

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/マラウイ
隊次/平成19年度第1次隊
職種/エイズ対策

福島市
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
東日本大震災復興支援事業部福島事務所
プログラムオフィサー

●事務所が会津若松から福島市に移転した。今日は荷物整理。共に作業する同僚の藤井由佳さん(写真左)も青年海外協力隊の元隊員だ(エルサルバドル/作業療法士)。

撮影地:福島事務所(福島市)



●「少しずつ、少しずつ」...マラウイ赴任時に、焦ってやろうとする時に現地の人がよく言ってくれた言葉。一歩ずつ落ち着いてやりなさいと。この日は南会津で実施した子どもの雪遊びイベントの英文レポートを作成。

撮影地:福島事務所(福島市)

おの でのら ゆ き
小野寺由貴

「様子を見ながら徐々に馴染むこと」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/ザンビア
隊次/平成22年度第4次隊
職種/村落開発普及員

葛尾村
葛尾村役場三春出張所総務課
復興対策係

●聞き取り調査のため戸別訪問を行った。「ザンビアから帰国して、やりたい仕事がここにあった」と実家の宮城県登米市から復興庁の市町村応援職員制度で赴任した。

撮影地:旧中郷小学校応急仮設住宅(三春町)



撮影地:旧中郷小学校応急仮設住宅(三春町)

おお た ゆう じ
大田雄士

「今は200km先からのよそ者だけど、
協力隊の時は2万km先からのよそ者だった」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心構は?)



派遣国／タンザニア
隊次／平成22年度第4次隊
職種／水資源開発

広野町
広野町役場町民課福祉環境グループ
福島復興局参事官付

●仮設住宅の換気、掃除、設備点検を行った。空室の維持管理作業は欠かせない、各世帯にも声かけをして回った。千葉県松戸市から復興庁の市町村応援職員制度で赴任。

撮影地：広野町下北迫応急仮設住宅



撮影地：広野町下北迫応急仮設住宅

あ だち けい こ
安達恵子

「常に笑って接しよう」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/インドネシア
隊次/平成15年度第3次隊
職種/看護師

二本松市
二本松市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉係
生活支援相談員

●日中は戸別訪問や集会所で勉強会やイベント実施をサポートしている。声かけの時には看護師としてのアドバイスも行う。

撮影地: 二本松市郭内公園応急仮設住宅



●「とても笑っていただけるような気分じゃない時もあるけれど、それでも笑っていつか思っています」と心づけを語った。

撮影地: 二本松市郭内公園応急仮設住宅

たか はし
高橋

つかさ
司

「毎日が真剣勝負」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/メキシコ
隊次/平成17年度第2次隊
職種/青少年活動

相馬市
原釜幼稚園
教諭

●津波で大きな被害を受けた相馬市松川浦の北端に位置する幼稚園。ある子に「司先生好き？」と聞くと「大好き！一緒にいてほしい」と返ってきた。

撮影地:原釜幼稚園(相馬市)

「今、目の前で見ている子どもたちが将来の福島を支える子どもたち」それを意識すること。

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



●「今回の震災で多くの人、モノ、夢や希望さえも目前から失いましたが、改めて、目に見えるものや形あるものではなく、人とのつながりやぬくもりこそが財産であることを身にしみこませることができました」

撮影地:原釜幼稚園(相馬市)

『「つよく、やさしい」子どもたちを育てていければと毎日真剣勝負しています』

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



●「メキシコで学んだ「ABRAZO(アブラソ)」の精神。スペイン語で「抱擁」という意味です。隣にいてくれる人の価値、抱きしめてくれることの難さを自分が育った地元で、家族や友人、そして地元の未来を担う子どもたちに広めていきたい」

撮影地:原釜幼稚園(相馬市)

はま だ
濱田

あい
愛

「思うがまま」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国/ヨルダン
隊次/平成23年度第2次隊
職種/体育

南相馬市
南相馬市役所原町保健センター
健康福祉部健康づくり課 健康推進係

●2013年9月末帰国。復興庁の市町村応援職員制度で2014年1月着任。愛媛県から引越して来た。まだ始まったばかり。南相馬在住の先輩協力隊員の現場に訪問した。

撮影地:原町聖愛保育園(南相馬市)

なか むら あ す か
中村明日香

「なるべく自分の身体感覚を使って経験できる
ことの大切さ。五感を使って、身体を使って」

(Q:今を支えている言葉や出来事、仕事をする上で大切にしている心情は?)



派遣国／マラウイ
隊 次／平成19年度第2次隊
職 種／理数科教師

猪苗代町
NPO法人こどもの森ネットワーク
幼児の園外遊び スタッフ

●福島市から幼稚園児が来て雪で目一杯遊んだ。
大人が主導することはあえてしない。子どもの
自主性に任せると遊びはどんどん発展していく
という。

撮影地：フォレストパークあだたら(大玉村)



撮影地：フォレストパークあだたら(大玉村)



〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2
Tel.0243-24-3200 Fax.0243-24-3214

<http://www.jica.go.jp/nihonmatsu/>



公式FACEBOOK

<https://facebook.com/jicantc>

"JICA Nihonmatsu Training Center"

撮影 / 2014年 永井涼